



エッジによる AI 画像解析を実現する次世代デバイス amnimo AI Edge Gateway

専用プロセッサにてAI処理を実現するGateway装置

- AI解析を実行する専用プロセッサを搭載した拡張ボードを装着
- AI処理のための消費電力・発熱量を抑え、多くの場所での使用を可能とすることを旨す



ルネサス製マイクロプロセッサを採用

- AI Edge Gatewayは、ルネサスエレクトロニクス株式会社が開発したマイクロプロセッサであるRZ/V2Mを搭載

RZ/V2Mの特長

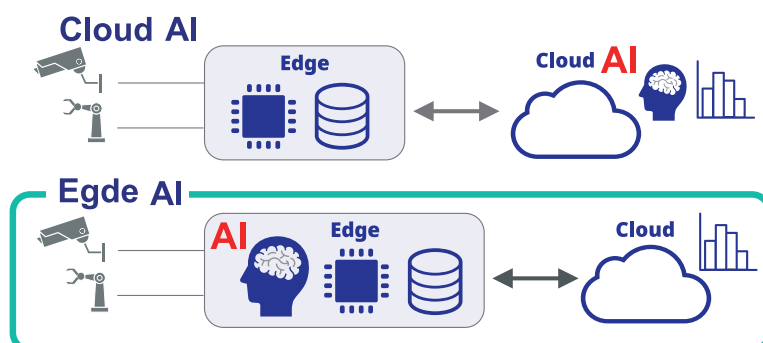
- 1GHzで動作するArm Cortex A53を2コア搭載
- ビジョン向けAIアクセラレーターである「DRP (Dynamically Reconfigurable Processor) - AI」を搭載し1TOPS/Wクラスの低消費電力でAI演算を実行可能
- 複数のAIモデルを高速に切り替えることが可能なフレキシブルなアーキテクチャ
- H.265/H.264のエンコード・デコードが可能。



エッジAIのコンセプトの実現に不可欠なAIエッジデバイス

エッジAIのメリットは

- 低遅延なレスポンス
- 通信コストが削減できる
- 通信が利用できない場合でもAI処理ができる
- 画像をローカルで取り扱うことから、セキュリティやプライバシーの問題を回避しやすい



一般的なAIフレームワークであるONNXに対応

- AI解析ロジックの取り込みは一般的なAIフレームワークであるONNXに対応しているため、外部のDeep-Learning環境で作成したAI解析ロジックが実行可能
- 既にFieldに設置された機器に対してAI処理ロジックを配信・更新するクラウドサービスを提供予定

検知のワークフロー



amnimoが構想するAIサービスの提供モデル

- AIエッジデバイスとAI解析ロジックを配信する仕組みを提供し、各種パートナーを交えたエコシステムを形成して、ユーザ企業に利用していただくソリューションの提供を目指す

